

北部病院だより 第 119 号(2018.5)

Showa University Northern Yokohama Hospital



- 【巻頭言】診療科長就任のご挨拶
- 【TOPICS】第 8 回北部医学会を開催
- 【TOPICS】正面玄関回転扉内の飾り付け
- 【TOPICS】新入職員入職式・オリエンテーション
- 【医師の配属・異動・退職】
- 【患者さんからのご意見・ご要望】
- 【診療統計】
- 【お知らせ】春期公開講座のご案内
- 【編集後記】



昭和大学
横浜市北部病院

90th
SHOWA University
至誠一貫 Since 1928

巻頭言

診療科長就任のご挨拶

ここ昭和大学横浜市北部病院も若葉の緑がまぶしい季節となりました。

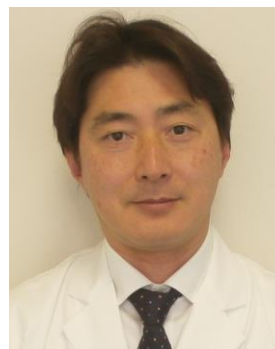
さて私、川崎恵吉は、2001年の昭和大学横浜市北部病院の開院時に整形外科医として着任し、その後13年間勤務いたしました。2014年よりヨーロッパ3カ国に留学し、昭和大学病院（旗の台）にて勤務の後、この4月から当院整形外科の診療科長として戻って参りました。4年ぶりに皆さんとお目にかかれることを大変楽しみにしておりました。

当院整形外科は初代病院長の黒川高秀教授、初代診療科長の西山嘉信准教授の下でスタートし2代目科長の稲垣克記（現昭和大学整形外科主任）教授、3代目科長の中村正則教授によって、より充実した体制が築かれました。若輩ながらそのバトンを引き継ぎ、身の引き締まる思いです。また、2009年に無謀運転の巻き添え事故で亡くなった、整形外科病棟の師長・主任・主任補佐の3名の思いを忘れることなく、邁進いたします。

私が専門とする手の外科は、整形外科の中でも細かいものを扱うことが多く、手術の際には顕微鏡を用いることもあります。その他、手関節鏡といった内視鏡手術、手指や肘の人工関節手術、また先天性疾患、変性疾患、関節リウマチ、骨折や偽関節、変形治癒、皮膚欠損、血管・腱・神経・靱帯などの損傷など多くの疾患を診ております。診療科長として、わが国の手の外科を先導して参ります。また当科では4月より、股関節外科・人工関節手術を専門とする前田講師、脊椎外科を専門とする白旗講師、尾又講師、外傷外科を専門とする山口講師、小児整形外科を専門とする伊藤講師を配し、患者さんに優しい、安全で正確な手術を治療の根底に置きながら、専門性を極めた最先端の治療を行っていく所存であります。

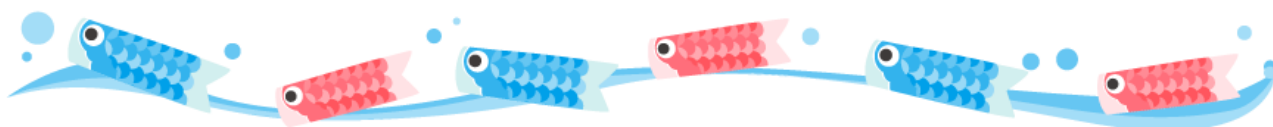
昨今、医療の世界にも「働き方改革」が求められております。私が留学したヨーロッパ諸国では、医師の仕事のオンとオフがはっきりしており、朝と夕方にはティータイムが存在し、基本的に16時には診療を終えていました。当直した医師は翌日午前には帰宅し、夏休みは5週間を取得するなど、医師不足が叫ばれる日本では考えられない体制で運営されていました。しかし、夜間・休日の診療体制を充実させるために外傷外科医を多数抱える一方で、患者さんの手術までの待機期間が延びる傾向にあり、手術前にやむなく他院への転院も強いられるなどの問題点も顕在化していました。

整形外科は腰が痛い、膝が痛いといった加齢に伴う変性疾患から、救急搬送される外傷まで多岐にわたる対応が求められています。当院のスタッフと協働し、また近隣の昭和大学藤が丘病院とも連携して、効率的な運営に努めることで患者さんを中心としたチーム医療を実践して参ります。このような整形外科チームをどうぞよろしくお願い申し上げます。



整形外科

川崎 恵吉 准教授



TOPICS 第8回北部医学会を開催

第8回北部医学会が2018年3月17日（土）に開催されました。

北部医学会とは、最新の学術研究から業務改善の紹介等、日々の業績を職員間で共有することを目的として毎年院内で開催している学会です。

今回は40演題の発表に100名を越える職員が参加し、医師・看護師を始め様々な職種の職員が日頃の研究の成果や業務改善の成果を共有しました。

北部医学会で職員が発表したパネルの一部は中央棟1階に展示し、来院された皆さんにもご覧いただきました。また、当日は参加した職員にて投票を行い、優秀演題の選出を行いました。



〈学会発表中の様子〉

佐藤 啓 係長（西棟3階病棟）



〈学会発表中の様子〉

富岡 大 講師（メンタルケアセンター）

・ 院長特別賞

「消化器外来における検査待機時間の短縮への取り組み」

（外来 松浦 麻果 看護師）

・ 学術奨励賞（各診療科・部署責任者から構成される病院運営委員会委員による投票）

「精神科領域における光トポグラフィ検査の有用性」

（メンタルケアセンター 富岡 大 講師）

・ 最優秀演題賞（参加者による投票）

「施設で終末期を迎えることを希望し、血液透析から腹膜透析に移行しえた1例」

（6A病棟 佐藤 美由紀 看護師）

TOPICS 正面玄関回転扉内の飾り付け

季節の行事ごとに中央監視室山口憲一さんお手製の愛嬌あふれる作品が展示されております。

正面玄関通られる際は、是非、足を止め、季節を感じてみてください。

（左：イースター、右：金太郎）



TOPICS 新入職員入職式・オリエンテーション

4月2日（月）、厳しい寒さも緩み、春の暖かな日差しの中で、昭和大学横浜市北部病院入職式が挙行されました。

看護師 88 名、理学療法士・診療放射線技師等その他メディカルスタッフ 16 名の計 104 名を北部病院に迎えました。出席者は緊張した面持ちで、入職した期待と不安が入り混じった様子が伺えました。

入職式の後には、新入職員を対象としたオリエンテーションを開催しました。

オリエンテーションでは、医療事故防止対策に始まり、感染対策や個人情報の取り扱い等、病院で勤務する上での必須の講習を行いました。また、都筑警察署長による防犯対策のご講演、管理部門から福利厚生、事務手続き、寮についての説明を行い、新入職員の生活と健康へのサポートを示しました。

オリエンテーション後は、当院のレストランにて新入職員歓迎会を開催し、新入職員たちの門出を、多くの職員でお祝いしました。

翌3日（火）には初期臨床研修医 25 名の入職式を挙行いたしました。医師としての第一歩を踏み出した研修医たちは、期待と不安の入り混じった様子で、初期臨床研修医オリエンテーションを受けていました。このオリエンテーションは3日（火）から6日（金）までの4日間開催し、研修医たちは医療の基本的ルールや心構え、感染管理や機器操作、採血研修、救急救命研修など多くのことを学びました。この後は、臨床の現場にて2年間の研鑽に励むこととなります。



〈福成副院長の講義中〉



〈門倉病院長のご挨拶〉



〈木村教授の講義中〉

医師の配属・異動・退職

新規配属医師

【附属施設より】

・ 森田 孝次（こどもセンター）	江東豊洲病院	こどもセンターより	2018年5月1日付
・ 中村 豪（産婦人科）	昭和大学病院	産婦人科より	2018年5月1日付
・ 河本 貴之（産婦人科）	昭和大学病院	産婦人科より	2018年5月1日付
・ 三浦 瑛子（眼科）	東病院	眼科より	2018年5月1日付

異動・退職医師

【附属施設へ】

・ 阿部 祥英（こどもセンター）	昭和大学病院	小児科へ	2018年5月1日付
・ 折坂 勝（産婦人科）	藤が丘病院	産婦人科へ	2018年5月1日付

【退職】

・ 砂川 恵伸（臨床病理診断科）	2018年4月30日付
・ 奥 和典（麻酔科）	2018年4月15日付

患者さんからのご意見・ご要望

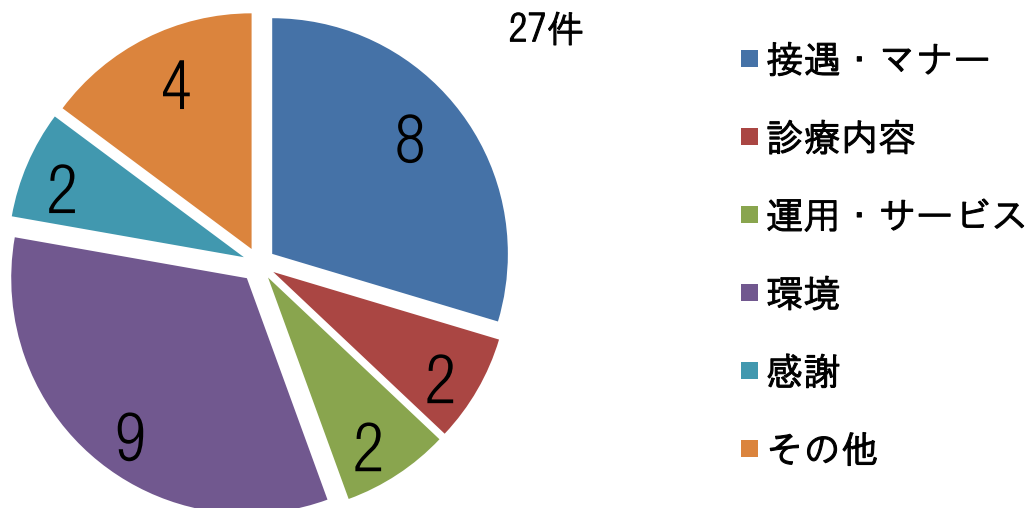
日々患者さんよりいただきましたご意見・ご要望に関しましては、病院長及び関連する部署の責任者に報告し、改善に努めております。

今までのご意見の中で多くいただいたものや最近のご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきます。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

ご意見・ご要望	回答・改善等
<運用・サービスについて> 入院レンタル代の支払い場所・方法が分かりづらい。 他 1 件	この度はご迷惑をおかけしました。 入院費は自動精算機もしくは会計窓口でのお支払いですが、入院レンタル代は入院受付（110 番）でのお支払いとなっております。 入院受付にその旨の案内がございませんので、今後、案内を掲出することを検討いたします。
<運用・サービスについて> お茶が冷たい物のみとなったが、消化器病棟でホットコーヒーが飲める人は少ないと思う。お茶の温かい物を入れてほしい。 他 1 件	病棟のデイルームに設置しております飲料の自動販売機は比較的小型であり、病院という特性からミネラルウォーターを切らさないように販売アイテムを選定しております。 温かい飲料の販売につきましては、品質保持のため販売期間が短く、春季より順次冷たい飲料販売へ切替し対応しております。 昨今、常温での販売対応が可能な機種も開発されてまいりましたので、お寄せいただきましたご意見を参考に、今後の機種入替の際に検討を進めて参ります。
<その他について> 病院横を通っていた横浜市営バスが、ダイヤ改正により廃止になってしまった。高齢者の通院の手段のため廃止はとても困る。 他 3 件	貴重なご意見をお寄せくださりありがとうございました。 病院横を通っていた横浜市営バス 308 系統は、利用者数の減少のため平成 29 年 9 月 30 日をもって廃止となりました。 病院でのマイクロバス運転のご要望もいただきましたが、利用者数を鑑みると実現が難しいのが現状です。 ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

平成30年3月
ご意見・ご要望の総計
27件



診療統計



前年同月比 ()内は1日平均

診療実日数 2017年3月(入院:31日・外来:26日)、2018年3月(入院:31日・外来:26日)

	入院患者数	外来患者数	救急搬送数	手術件数
2017年3月	18,507人(597.0人)	29,398人(1,130.7人)	413件(13.3件)	779件(35.4件)
2018年3月	18,564人(598.8人)	28,237人(1,086.0人)	460件(15.3件)	741件(35.3件)

お知らせ 春期市民公開講座のお知らせ



平成30年度春期市民公開講座を以下のとおり開催する運びとなりました。

皆さんお誘い合わせうえ、是非お越しください。

■日 時:平成30年6月2日(土) 受付13:15~(予定)

■会 場:昭和大学横浜市北部病院 西棟4階講堂

■受講料:無料

■講演内容:

認知症についてのテーマで、医師・看護師それぞれの目線から講演します。

医 師:富岡 大 講師 (メンタルケアセンター)

看護師:佐藤 啓 係長 (西棟3階病棟)

■申込方法:

①FAXもしくはE-mailにて申込書を送信

②院内設置の受付箱に申込書を投函

※申込書は院内で配布・ホームページに掲載しております。

受付箱は中央棟1階総合案内・管理課、

中央棟地下1階防災センターに設置しております。



〈昨年度の様子〉

■申込書送信先:

FAX: 045-949-7117

E-mail: nhkouhou@ofc.showa-u.ac.jp

■問い合わせ先:

管理課 TEL 045-949-7000(代表)

編集後記

突然ですが「フィトンチッド」という言葉をご存じでしょうか?

これは、高等植物が絶えず進入しようとする有害な細菌や昆虫などから身を守るために放出する物質のことで、「フィトン(phyton=植物)がチッド(cide=殺す)」に由来しています(ちょっと物騒な響きですね)。この物質は植物の根や幹に含まれており、主に葉から放出されています。多くの動物の死骸や腐敗した堆積物があるにもかかわらず、森林の空気が爽やかなのはこのフィトンチッドに消臭・浄化作用があるからです。食品への防腐・殺菌効果もあり、木のお弁当箱、お寿司屋さんのガラスケースに敷かれた針葉樹の葉、柿の葉ずしや柏餅の葉等々、身近なところで役立っています。フィトンチッドは木々が成長する5月から8月頃に最も多く放出されます。ヒトに対するリラクゼーション効果も科学的に証明されていますので、大いに吸って身も心もリフレッシュしたいですね。

〈5B病棟 林田 香代〉



北部病院だより 第119号

平成30年5月1日発行

発行責任者 門倉 光隆(昭和大学横浜市北部病院長)

編集責任者 緒方 浩顕(広報委員会 委員長)

発行 地域中核病院 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL: <http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/index.html>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がご覧いただけます。